

☐ ソフト事業のみ
 ☒ ハード事業を含む

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和7年度

市町村名	小鹿野町				
提案事業名	おがの化石館リニューアル事業				
事業期間	令和5年度 ～ 令和5年度				
成果指標	(成果を検証する指標) ワークショップ等のイベントを行った回数と参加者数				
	(成果検証の具体的な方法) 令和4年度に小鹿野町が実施したイベント数および参加者数を、ソフト事業及びリニューアル事業実施後のものと比較する。				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A
	従前値 (令和4年度時点)	イベント回数:3回 イベント参加人数:51名	目標値 (7年3月時点)	実績値 (7年3月時点)	イベント回数:6回 イベント参加人数:547名
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)	
	住民への公表状況 及び特記事項		町HPによる公表		

【事業効果の整理・原因分析】

令和5年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① おがの化石館古秩父湾魅力化事業	○	町の生涯学習課職員やおがの化石館アドバイザーなどが講師となり、ワークショップや見学会などのイベントを開催した。当初計画より回数は少なくなったが、地域住民等との協働により、複数のワークショップを同日に行うイベントを開催し、参加者数は当初予定より倍増した。 イベントについては、令和7年度も地域住民と協働により開催予定であり、化石館に対する関心が高まった。
② おがの化石館展示改修事業	○	おがの化石館の展示改修を行い、展示動線が整理され、展示物が増えたことにより、理解促進につながった。 ①のワークショップ等の講座だけでなく、小・中学校の利用希望が増加し、地学教育の活性化につながった。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	町主催だけでなく、地域住民等との協働により、ワークショップやイベントが開催されるなど、おがの化石館に対する関心が高くなり、参加者数の増加にもつながった。
実施事業について 成果が不十分である点	年間でのワークショップ等開催数について、イベント規模や内容をさらに検討して進める必要がある。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	ニーズに合わせたワークショップ等や地学教育に理解につながる企画の継続的な実施を計画し、おがの化石館の来館者増加を図る。